

公益財団法人岩手県文化振興事業団第75回理事会議事録

- 1 開催日時 令和7年11月26日（水）午後2時
- 2 開催場所 岩手県立美術館 会議室
- 3 出席者 理事総数 9名
出席理事 8名
理事長 石田 知子 理事 岩渕 計
理事 長内 努 理事 鎌田 徳幸
理事 熊谷 常正 理事 坂本 美知治
理事 佐々木 真一 理事 菅原 義子
監事総数 2名
出席監事 2名
監事 佐々木 恵太 監事 田村 均次
- 4 議長 理事長 石田 知子
- 5 決議事項
議案第1号 令和7年度事業計画の変更について
- 6 報告事項
報告事項1 職務執行状況の報告について（令和7年度事業の執行状況）
報告事項2 令和8年度事業計画（素案）の概要について
- 7 議事の経過の要領及びその結果
定刻、業務支援室総務課長が、理事総数9名のうち8名出席により、本理事会が定款第35条に規定する定足数を満たしており、有効に成立した旨を告げた。
次に、本日の決議事項に特別の利害関係を有する理事がいないことを確認した後、開会を宣し、定款第34条の規定に基づき理事長が議長に就任し、議案の審議に入った。

[決議事項]

議案第1号 令和7年度事業計画の変更について

議長は議案第1号を上程し、埋蔵文化財センター総務課長から別紙議案書に基

づき説明がなされ、その賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

[報告事項]

(1) 報告事項 1 職務執行状況の報告について（令和7年度事業の執行状況）

理事長から、業務執行に際し各種規程に基づき必要な契約手続きや会計処理、財産管理、人事・組織管理等の業務を執行したこと、理事長権限とされる資金の借入れを行っていないことについて報告がなされた。

また、別紙資料に基づき業務執行理事5名からそれぞれ令和7年度事業の執行状況について報告があり、いずれも了承した。

《質問・意見等》

【熊谷理事】

全国の県立相当の美術館、博物館では、概ねキャッシュレス対応が完備されている。事業団管理施設の対応状況について、ご説明いただきたい。

【長内理事】

県立美術館の受付ではキャッシュレスについて未対応である。今期の企画展から、ミュージアムショップでキャッシュレス決済を利用できる。受付窓口でもキャッシュレス決済を利用できるよう検討したい。

【博物館副館長】

岩手県立博物館でも、以前から来館者から要望をいただいているが未対応である。東北6県の状況など情報収集をしており、引き続き導入について検討を重ねたい。

【石田理事長】

県民会館窓口も現金のみの対応である。また、条例上、博物館入館料は前売りができないため、ポケモン化石博物館のような企画展の前売りができなかった。QRコード決済だけでも対応できると利用者の利便性が上がる。

【熊谷理事】

広報媒体については、アンケートを活用するなどして効果的な活用ができているか、機能しているかをきちんと評価する段階に来ているのではないか。その一方で、紙媒体で発行していた調査報告書や年報がデジタル化されている。事業団全体のアピールの仕方について検討する場を設けるのも一つの方法だと考える。

【石田理事長】

盛岡市文化振興事業団は非常に上手で、新聞広告も法人全体の事業を載せている。

【熊谷理事】

私も携わっているが、啄木記念館の事業も盛岡市文化振興事業団として広報している。当事業団はそういう部分のまとまりが弱い。

【石田理事長】

広報については内部で検討し、また評価していきたい。紙で残さなければならない記録もあり、一方で、効率化しなければならない広報もある。どうしたら我々の活動・情報が県民に届くのか、検討していきたい。

【菅原理事】

美術館のアウトドア事業はどのような場所に赴いているか。対象は地区センターや学校か。私設の美術館なども対象となるか。

【長内理事】

県内をエリアに分け、今年は沿岸地域を対象に実施し、学校の授業や部活動、公民館事業などを対象としている。

【美術館副館長】

出前授業の方は主に小中学校の授業や美術部などの部活動である。公民館などの社会教育施設については、研修講師派遣として学芸員が訪問している。

【石田理事長】

博物館法が改正され、博物館・美術館と地域との連携は重要な要素となっている。それぞれの館と地域とどうつながっていくのか、取り組んでいかなければならぬと考える。

(2) 報告事項2 令和8年度事業計画（素案）の概要について

別紙資料に基づき、県民会館業務管理課長、埋蔵文化財センター総務課長、博物館副館長、美術館副館長及び業務支援室総務課長から報告があり、これを了承した。

《質問・意見等》

【熊谷理事】

37頁の埋蔵文化財センターの「可能性あり」の場所は試掘調査を実施しているか。

今年度の発掘調査遺跡も含めて、出土遺物が多くないようである。黒岩宿遺跡は期待が持てるかと思う。

盛岡市の盛南地区に隣接する物流拠点計画が開始した。県教育委員会とうまく調整していただき、確実に調査面積を確保して頂ければと思う。

【岩渕理事】

「可能性あり」の場所は、試掘調査を実施したところ発掘調査が必要と判断された場所である。遺跡名はまだついていない状況である。

盛南地区については具体的な情報はまだ入ってきていないが、県教育委員会と連携を取りつつ進めていければと考えている。

【菅原理事】

感想を述べたい。先日、県立博物館の日曜講座に出席した。県内外から参加者が集まっていた。本当にみんな熱心に講師に質問している様子を見たし、今更ではあるが、素晴らしい取り組みをされていると感心した。

その他として、業務支援室長、博物館参事兼企画課長兼資料課長、美術館学芸普及課長、業務支援室総務課長からそれぞれ報告があり、いずれも了承した。

ア 事務局からの報告について

事務局長から、事業団創立40周年記念事業の報告があった。

【石田理事長】

創立40周年記念企画展における埋蔵文化財センターのコーナーでは「三陸を掘る」と題して、約900点の資料を展示した。今回の記念事業を通して、復興支援事業の活動やその成果を紹介するにあたり「パッケージ化」できたこと、それも大きな成果であった。また、我々の仕事は利用者と歴史や文化芸術をつなぐ役割である。企画立案や情報発信の部分、その「つなぐ」役割を強化しなければいけないと認識したところである。

イ 博物館からの報告について

博物館参事兼企画課長兼資料課長から、国内におけるクマの市街地出没や人身被害を受け、クマの標本や生態について紹介する展示を実施している旨報告があった。

ウ 美術館からの報告について

美術館学芸普及課長から、新たに収蔵した盛岡市出身の現代美術家菅木志雄氏の作品展示について報告があった。

エ 第76回理事会の開催と議事内容について

業務支援室総務課長から、特段の事情が生じなければ、令和8年3月中旬、県民会館又は美術館において、令和8年度事業計画、収支予算の審議等を議事内容とする第76回理事会を開催予定である旨説明があり、全員これを了承した。

以上をもって議事の全部の審議を終了したので、午後3時55分に閉会を宣し、解散した。

上記議事の経過の要領及び結果を明確にするため、理事長及び監事が記名押印する。

令和7年 月 日

公益財団法人岩手県文化振興事業団 第75回理事会

議 長 印

監 事 印

監 事 印